
平成24年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成24年3月5日

質問者（質問順）

- 1 福島直子 委員（公明党）
- 2 磯部圭太 委員（みんな）
- 3 渋谷 健 委員（自民党）
- 4 五十嵐 節馬 委員（民主党）
- 5 山田 桂一郎 委員（ヨコ会）

港 湾 局

局 別 審 査

1 福 島 直 子 委 員 (公 明 党)

1 タグボートの係留使用料について

(1) タグボートの係留使用料を徴収してこなかった理由となっている「慣例」とは、どういうことなのか。

(2) これまでに慣例を改める機会はなかったのか。

(3) 慣例を改めていくためには、横浜市港湾施設使用条例の一部改正も必要だと思うが、改正に向けた考え方について伺いたい。

(要望) 条例等の定めに適合していないにもかかわらず「慣例」として改善してこなかったものがないか、事務事項の総点検を行うよう提案します。

また、その結果を常任委員会等議会に適宜報告するよう要望します。

2 横浜港埠頭公社の民営化について

(1) 現行のターミナル運営は、横浜港埠頭公社の民営化後にどのように変わるのか。

(2) 横浜港埠頭公社を民営化する理由とメリットは何か。

(3) 横浜港埠頭株式会社に対して、本市は今後どのように関与していくのか。

(4) 横浜港埠頭株式会社の組織と人材確保及び育成について伺いたい。

(5) 横浜港埠頭公社の民営化による組織体制の変更に伴い、港湾局の組織はどのようになるのか。

(要望) 平成27年の三港一体経営への移行に至るまでの間、まずは初年度、あるいは25年度の目標値である年間コンテナ貨物取扱量400万から480万TEUの達成について、着実に結果を出していくように要望します。

3 津波対策について

(1) 東日本大震災で越流による被害がなかった理由を伺いたい。

(2) 東日本大震災を受けた津波対策の検討状況について伺いたい。

- (3) 迅速に非難するための方法や避難場所等、ふ頭利用者との調整状況について伺いたい。
- (4) 津波対策における施設整備の考え方について伺いたい。
- (5) コンテナや船舶の流出防止対策について伺いたい。
- (6) 津波対策の今後の進め方について、副市長に伺いたい。
- (要望) 広いふ頭内での災害情報の伝達方法や避難場所のわかりやすい表示、避難訓練の実施について検討していただきたい。

4 耐震強化岸壁の整備について

- (1) 通常の岸壁と耐震強化岸壁の設計上の考え方の違いについて伺いたい。
- (2) 耐震強化岸壁の整備状況について伺いたい。
- (3) 耐震強化岸壁と都市部を結ぶ道路との連携は、どのようになっているのか。
- (4) 発災時、耐震強化岸壁はどのように運用されるのか。

5 放置艇対策・横浜ベイサイドマリーナについて

- (1) 放置艇対策として、これまでどのような取り組みを行ってきたのか。
また、現在の状況と推移について伺いたい。
- (2) 横浜ベイサイドマリーナの役割について、どのように考えているのか。
- (3) 今後の放置艇対策の進め方について伺いたい。
- (要望) 自動車に車庫法があるように、船にも法を整備するよう国へ働きかけるとともに、しっかりと放置艇対策を行っていただくよう要望します。

6 みなとの理解促進について

- (1) みなとの理解促進のために、これまでどのような取り組みを行ってきたのか。
また、その実績はどうなっているのか。
- (2) 24年度はどのようなことに取り組んでいくのか。
- (3) より幅広く市民へ港の啓発を行うべきと考えるが、港湾局長の見解はどうか。
- (要望) 長距離を歩くのが苦手な高齢者等にも楽しんでいただくために、港の周辺に車いすの貸出・返却拠点を設けていただきたい。

また、電動自転車の充電施設についても検討いただきたい。

2 磯部圭太委員（みんな）

1 予算規模について

（１）予算と決算において、事業の対比がしやすくなるように、局の予算概要をどのように改善したのか。

（要望）予算の執行にあたっては、事業を推進する中で必要となる経費が増加する場合や緊急時の対応等やむを得ない場合を除いて、安易に流用を行わないでいただきたい。

また、決算の説明資料についても、予算との対比がわかるように改善するよう要望します。

2 南本牧ふ頭MC-3コンテナターミナル荷捌き地の直轄事業について

（１）南本牧ふ頭MC-3コンテナターミナル施設の整備主体について伺いたい。

（２）なぜ、直轄事業にできるのか。

（３）直轄事業にすることのメリットは何か。

（４）直轄事業とするために、土地を売却する理由は何か。

（５）売却額は、どのように決めるのか。

（６）今後も同様の手法で荷捌き地整備を進めるのか。

（意見）国の支援や制度を有効に活用し、さらなる国際競争力の強化が図られることを期待する。

3 横浜港埠頭公社の民営化に伴う港湾施設の貸付について

（１）株式会社による競争力強化策として、港湾施設を貸し付けることとした経緯について伺いたい。

（２）貸付により期待する効果は何か。

（３）港湾施設の使用料収入が減収となる理由は何か。

（４）貸付による本市への短期的及び長期的な見通しについて伺いたい。

（要望）本市の負担が長期的に軽減されながら、横浜港の競争力が強化される仕組

にしっかりと取り組んでいただきたい。

4 客船の寄港促進について

- (1) 去年の横浜港の客船寄港数について伺いたい。
 - (2) 日本の他港に対する客船の寄港状況は、どのようになっているのか。
 - (3) 九州や沖縄への寄港数の増加をどのように解釈しているのか。
 - (4) 日本一のクルーズポートとして、横浜港は、寄港促進に向けてどのように取り組んでいくのか。
- (要望) 今後も国内外の客船寄港を増加させ、寄港数日本一を維持することで、優れたクルーズポートとしての国際的評価を確立させていただきたい。
- (意見) 横浜港への訪問客や観光客を増加させ、横浜経済の発展に寄与するよう期待する。

5 新港地区の街づくり

- (1) 新港16街区の民間地権者は何者いるのか。
- (2) 港湾局が所有している土地の面積はどのくらいあるのか。
また、どのような土地の地形なのか。
- (3) 再開発について、地区内地権者同士での協議はどのように行ってきたのか。
また、本市はどのように関与してきたのか。
- (4) 地区内地権者同士の協議における本市の位置づけについて伺いたい。
- (5) 本市はいつから協議に参画しているのか。
- (6) 仮に、港湾局の土地を貸し付ける場合には、どのような貸付形態が考えられるのか。
また、貸付額は、どのような手続きで決めるのか。
- (7) 景観上配慮すべき地区であることについて、開発事業者にどのように説明を行ったのか。
- (8) 横浜市都市美対策審議会の議論を受けて、開発事業者との協議は、現在どのような状況なのか。
また、本市は、どのようなスタンスで協議に臨むのか。

- (9) 協議の状況によっては、本市の土地を貸し付けないこともあり得るのか、副市長に伺いたい。
- (10) 年度内に早急に結論を出すのではなく、4月以降の港湾局長及び副市長にしっかりと引き継いでいただきたいと考えるが、港湾局長、副市長の見解はどうか。

3 渋谷 健 委員（自民党）

1 24年度港湾局予算編成の考え方

(1) 予算編成で重点をおいた取り組みは何か。

(要望) 横浜港として来年度も全力で取り組むとともに、積極的な予算をしっかりと活かしていただきたい。

2 内港地区の水辺空間の活性化

(1) 観光客が描く横浜の「港」のイメージをどのように認識しているのか。

(2) 横浜港内でのメガヨットの受け入れ体制は、どのようになっているのか。

(3) 80ft級の船は、みなとみらい21地区に係留できるのか。

(4) みなとみらい21地区にヨットで来る方は、横浜でどのように過ごしていると考えているのか。

(5) みなとみらい21地区にヨットで来た方は、中華街で遅くまで食事を楽しんだり、ホテルに宿泊したりすることが可能なのか。

(6) みなとみらい21地区では、夜間にヨットに係留することはできないのか。

(7) みなとみらい21周辺水辺空間活性化協議会での議論内容について伺いたい。

(8) ヨットの係留について、夜間も対応すべきと考えるがどうか。

(9) 内港地区が将来目指す姿について、副市長に伺いたい。

(要望) 横浜港にヨットがたくさん係留している風景が見られるような体制づくりをお願いしたい。

3 港勢について

(1) 横浜港のコンテナ貨物の取扱実績について伺いたい。

(2) 東京港と名古屋港の輸出量と前年比は、どうなっているのか。

(3) 東京港と名古屋港の輸入量と前年比は、どうなっているのか。

(4) 東京港と名古屋港の輸出入全体の量と前年比は、どうなっているのか。

(5) 横浜港と東京港、名古屋港のアメリカ向け貨物量と前年比は、どうなっているのか。

るのか。

- (6) 横浜港と東京港、名古屋港の中国向け貨物量と前年比は、どうなっているのか。
- (7) 他港と比較した横浜港の輸出入コンテナ貨物の動向について、どのように分析しているのか。
- (8) 現在の状況を踏まえて、今後の対応策をどのように考えているのか。

4 南本牧ふ頭MC-3コンテナターミナルの活用について

- (1) 今までの整備状況と供用までのスケジュールについて伺いたい。
- (2) 南本牧ふ頭MC-3コンテナターミナルの特徴は何か。
- (3) 南本牧ふ頭MC-3コンテナターミナルの整備に向けた国の支援策について伺いたい。
- (4) 南本牧ふ頭連絡臨港道路の整備状況と完成予定について伺いたい。
- (5) 大型コンテナ船の横浜港への寄港の見込みはどうなっているのか。
- (6) 南本牧ふ頭MC-3コンテナターミナルを活用した横浜港の国際競争力強化について、どのように考えているのか。
- (要望) 南本牧ふ頭MC-3コンテナターミナルを最大限に活用して、大型コンテナ船の横浜港への寄港に取り組んでいただきたい。

5 港湾経営改革によるコスト競争力強化について

- (1) 改正港湾法により創設された港湾運営会社制度の概要とねらいについて伺いたい。
- (2) 港湾運営会社制度を活用した行政財産の貸付の内容について伺いたい。
- (3) 横浜港埠頭公社が現在有している財産の関係はどうなるのか。
- (4) 横浜港埠頭株式会社は、本市から借り受けた財産をどのように利用者に貸し付けるのか。

また、本市の関与はあるのか。

- (5) 貸付料の設定の考え方は、どのようになっているのか。
- (6) 国が持っている財産の貸付料及び貸付時期の見込みについて伺いたい。

- (7) 横浜港埠頭株式会社による競争力強化について、今後どのような施策を展開していくのか。
- (8) 貸付料を低廉化することにより、釜山港をはじめとする海外諸港とどのように戦っていくのか、副市長に伺いたい。
- (要望) 横浜港の地位奪還をしっかりと果たすよう要望します。

4 五十嵐 節 馬 委員（民主党）

1 国と連携した戦略港湾の推進について

- (1) 内閣官房における「ユーザー視点の港湾再生による地域活性化のあり方に関する委員会」の目的について伺いたい。
- (2) 「ユーザー視点の港湾再生による地域活性化のあり方に関する委員会」への京浜港としての提案内容について伺いたい。
- (3) 強制水先制度の現状の課題は何か。
- (4) 強制水先制度緩和の目的と効果について伺いたい。
- (5) 強制水先制度の緩和に向けて、24年度はどのような取り組みを行うのか。
(意見) 強制水先制度の緩和に向けた着実な取り組みを期待する。

2 コンテナ貨物の集荷促進について

- (1) 23年度のコンテナ貨物集荷の取り組み内容と成果について伺いたい。
- (2) 現時点での国内集荷の課題は何か。
- (3) 広域的な集荷に対して、国はどのような支援をしているのか。
- (4) 24年度は、どのような取り組みを行うのか。
- (5) コンテナバージと鉄道輸送のねらいと取り組み内容について伺いたい。
- (6) 今後の集荷補助の方向性について伺いたい。
- (7) 横浜港のアクセス強化に寄与する臨港道路整備の状況について伺いたい。
- (8) 集荷を進める上で横浜環状北西線の役割をどう考えるか、副市長に伺いたい。
(要望) 戦略港湾の実現に向け、集荷策の強化と、これを支えるインフラ整備をしっかり進めていただきたい。

3 安全・安心な港の形成について

(1) 放射線対策について

- ア 昨年3月の原発事故から1年が経つが、この1年の輸出コンテナの放射線の測定状況はどのようなになっているのか。

イ 放射線対策の今度の取り組みについて伺いたい。

(2) 港湾施設の維持保全について

ア 港湾施設の維持保全について、現状の課題について伺いたい。

イ 港湾施設の維持管理計画の策定状況は、どのようになっているのか。

ウ 24年度の具体的な取り組み内容について伺いたい。

(要望) 放射線対策を確実に進めていただきたい。

4 埋立事業会計の健全化について

(1) 収支見通しが悪化した主な原因は何か。

(2) 土地売却に関して、これまでどのような取り組みをしてきたのか。

また、その効果について伺いたい。

(3) 第3次中期財政プランの期間中に、どの土地の売却を見込んでいるのか。

また、土地が全く売却できなかった場合は、どうなるのか。

(4) 第3次中期財政プランを達成するため、24年度はどのような取り組みを行っていくのか。

(5) 収支不足を改善するための本市の対応について、副市長に伺いたい。

(要望) 早期の土地売却に向けて、全市を挙げて取り組むことを要望します。

5 港湾計画の改訂について

(1) なぜ、この時期に港湾計画を改訂するのか。

(2) 港湾計画の改訂にあたっての横浜港における現状の課題は何か。

(3) 次期港湾計画の方向性及び考え方について伺いたい。

(4) 山下ふ頭の取扱貨物の状況について伺いたい。

(5) 山下ふ頭の土地利用の考え方について伺いたい。

(6) 港湾計画の改訂に、市民意見をどのように反映していくのか。

(7) 港湾計画の改訂は、どのように進めていくのか。

(8) 次期港湾計画の改訂に向けた港湾局長の思いを伺いたい。

(要望) 地震や津波の避難対策についても港湾計画に盛り込んでいただきたい。

(意見) 今後の港づくりの礎となる港湾計画を打ち出すことを期待している。

5 山田桂一郎 委員（ヨコ会）

1 船会社へのポートセールスについて

- (1) 船会社に対して、どのようなポートセールスを行っているのか。
- (2) ポートセールスにおいて、横浜港の海外代表はどのような役割を果たしているのか。
- (3) 局長は、どの程度ポートセールスに出向いているのか。
- (4) 今後は、どのようにポートセールス強化を強化していくのか。

2 横浜港の国際交流について

- (1) 現在、どのような国際交流事業を行っているのか。
- (2) 第5回アフリカ開発会議に参加するアフリカ諸国との交流をどのように考えているのか。
また、今後、国際交流を推進するうえで、どのように活用していくのか。

3 2年間を振り返っての局長の所感について伺いたい。